



⑥ スーツに合わせやすい
5色展開

昨今、ちょっとお茶目な靴下が人気ですが、それはあくまで遊びを効かせたいとき。ジャケットなどのビジネスシーンやちょっとキメたいときにはベーシックが一番……ってことで黒、紺、ベージュ、シルバークレー、チャコールグレーを展開。

ズレにくい
ロングホーズ版も

スーツでピシッとキマったはずが、靴下がずれ落ちていたり、すね毛が裾から出ていたりした。元も子もありません。そんな心配もない解消してくれるロングホーズ版も作っちゃいました。7800円/1イデオム (アイ・コーポレーション)



⑤ こだわりの
カシミア&綿の
ハイブリッド

肌に触れる面は通気性の良いカシミアがムレを防ぎ、表はツヤのある新疆超長綿を使うことで靴の脱ぎ履きを滑らかにしてくれます。冬はほんわりと暖めてくれるカシミアが、寒がりになってきた我々にとっては嬉しい要素。

最高級、最高品質のイデオムで作っちゃいました

マデュロ別注

最高のものだから
贈り物にもできる
カシミア靴下

① 最高級の素材が合わさった
『結双 -MUSOU-』

履き心地と靴の脱ぎ履きの滑りにこだわり、ふたつの素材を使用。ピュアカシミアと新疆超長綿 (しんきょうちょうちようめん) という最高級の糸を使うことで、今までにない上質なものが完成。6000円/イデオム (アイ・コーポレーション)

② 結ぶ紐にも
こだわった外装

“贈り物”をコンセプトにしているので、パッケージ (別売り1000円) にもこだわりが。桐箱は明治元年から続く上野の「箱義桐箱店」で、今回のためにオリジナルで作成。紐は直接買い付けた金沢「すみや」の真田紐を使用。

④ 開けた瞬間
優しいお香の香り

“上質なものは香りも上質”ということで、「かゆらぎ」の名刺香をタグに付けました。箱を開けた瞬間、ざくろの心地よい香りが印象に残ります。名刺入れや洋服欄に忍ばせておけば、匂い袋としての役割も。

③ 内紙には
越前和紙を使用

外装はもちろん、靴下を包む紙にもしっかりこだわりが。江戸時代から紙漉きを続ける越前「紙漉匠」の和紙を使うことで、箱を開けた時の高級感もしっかりと演出。



普段使いのアイテムだからこそ、さり気なく一流品を使うのが大人ってもの。シガ1しかり、ワインしかり……。ただなにも趣向品だけじゃありません。それこそ毎日身に着ける、下着や靴下だってそう。特に靴下は、3足1000円のものだと滑りが悪く足を取れば取るほど、脱ぎ履きがあんなどろだし、蒸れて水虫に……。なんてことも。そこで今回マデュロでは履き心地にこだわった靴下を別注しちゃいました。生地の上にエジプト綿やシ1アイランドコットンと同ランクでもある新疆超長綿を、裏には最高級の100%ピュアカシミアを使用。普通、靴下の表と裏に2種類の天然繊維を使うことはない。(ヌバが悪い技術的にとっても難しい) ですが、肌触りも通気性も、滑りも、見た目もこだわり、こんな欲張り仕様には洗えば洗うほどカシミアの柔らかさが増していくのも特徴です。ここまですごいこだわりがまた普段使った普通品よりも一段上質で、自分でも使えちゃいます。パッケージにもこだわり、桐の箱を用意 (別売り1000円) したので、プレゼントが必要なときにぜひ活用ください。